

「金沢マラソン 2022」におけるスポーツボランティア ～城北市民運動公園応援ステージの運営・サポート～

団体名●池田ゼミナール(4年)／代表者名●池田幸應(人間科学部スポーツ学科・教授)

はじめに

全国的にスポーツによる地域活性化への取組が推進されており、金沢市でもマラソン推進課を中心に金沢市のスポーツ政策の大きな柱として市民参加型「金沢マラソン」が2015年度から実施され、今回で第7回を迎えた。本学は金沢市との連携協定締結(2018年3月)により、金沢市のスポーツ振興推進に向けて連携・協働を推進しており、金沢マラソンへも第1回から継続的に運営参画しており、その中で応援ステージの運営に関して、今回も人間科学部スポーツ学科池田ゼミナール学生が城北市民運動公園応援ステージの企画、準備、当日の運営にスポーツボランティアとして関わった。本稿では、この応援ステージでの活動について記述する。



応援ステージでのゼミナール学生による応援「風になれ」の様子

活動内容

金沢マラソン2022の城北市民運動公園「応援ステージ」の運営については以下のとおりであった。

- (1)日時：2022年10月30日(日) 9:30～15:00
- (2)場所：城北市民運動公園内(31.4km地点)
- (3)参加学生：金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科池田ゼミナール4年次学生(9名)
- (4)活動内容：応援ステージの運営(応援出演団体のサポート)及び沿道応援

金沢マラソンでは、応援ステージ会場が2ヵ所設定(西部緑地運動公園及び城北市民運動公園)されており、それぞれ金沢学院大学及び金沢星稜大学学生がその運営を担っている。応援ステージの運営及び沿道応援に関しては、これまで第1回大会より継続的に池田ゼミナールが中心となって、その運営活動を行っている。今回も池田ゼミナールの学生間でこれまでの応援ステージ運営経験を活かし企画し、役割分担により実施した。応援ステージでの出演団体は6団体(「ニツ屋豊年太鼓」「BABY☆HIPS」「野々市太鼓」「金城大学ダンス部」「朝霞太鼓」「金沢星稜大学 Highway Star」)であり、各出演団体は、1回30分間のステージが設定されており、色別ゼッケンを装着した学生が応援ステージ団体毎に担当し、サポートメンバーとして対応した。

成果、結果の考察

本ゼミナールにとっては、今回で7回目の応援ステージ運営サポート活動であり、これまでの経験実績もあり、学生の役割分担とその担当ごとの事前打合せ等によりスムーズに応援ステージ出演団体へのサポートができ、加えて出演団体の多くが昨年度からの継続団体ということもあり、各出演団体の方々からは“今回も、学生の皆さんのおかげで、スムーズに応援出演できました。有難う。”との言葉をいただいた。また、各応援ステージ出演団体の時間帯前後にゼミナール学生としても金沢マラソン公式応援ソング「風になれ」、「キノミライ～KM42.195～」に合わせた応援活動を行い、学生たち一人ひとりが「支えるスポーツ」を肌で感じ、スポーツボランティアとしての意識を深化させることができたものと考えられる。

今後の課題、展望

参加した学生たちにとって実践的なスポーツボランティアの学びの場であり、この活動経験を活かし、今後のスポーツによる地域活性化へと活動継続を期待したい。

なお、次年度からは、池田ゼミナールが無い場合、地域連携センターが運営サポートを引き継ぐことになっている。